

法人名 特定非営利活動法人さやま環境市民ネットワーク

事業計画書

事業名	市内河川の魅力を掘り起した総合まちおこし事業
枠の種類	分野指定枠（みどりと川の再生）
1. 事業の目的	狭山市内を流れる川の魅力（成り立ち、歴史、自然、災害）について市民の興味を掘り起こすため、市内で活躍するエンターテイナーらのインタビューによりこれらの魅力を引き出す。QRコードによりYouTubeで動画を市内外に配信し、川の再生を体系的且つ効果的に進展させる。
2. 事業で取り組みたい地域や社会の課題	<ul style="list-style-type: none"> ・市内には入間川、赤間川、不老川、久保川が流れているがこれらの川は日常生活と密接な関係にありながら、意外とそれらの魅力は知られていない。 ・その一方で、地球温暖化による局地的豪雨災害も頻発し、地域の氾濫被害も多い。川の魅力とともにそうした川の怖さも知って欲しいが入間川に至近な学校以外に体系的な周知活動は少ない。 ・過去 10 数年、入間川のほとりにある入間川小学校では環境教育が行われてきており、NPO 法人さやま環境市民ネットワークはその支援をしてきた。 ・COVID-19 のため、従来実施されていた川の教育活動が一切できず、with corona 時代に向けた代替教育活動が喫緊の課題である。
3. 具体的な事業内容	<p>(1) 市内の川を題材とした動画制作</p> <p>① 入間川、赤間川、不老川、久保川の魅力（その成り立ち、歴史、体験、自然）、また地球温暖化によって脅威化する川の怖さについて、市民の興味を掘り起こす事業を行う。</p> <p>そのため市内で活躍するエンターテイナーら（主に腹話術師）により、インタビュー形式で小学生向けの動画を作成する。</p> <p>伝える内容は、次ページの一覧表を参照。</p> <p>② 作成された動画を YouTube で 編集し SNS で拡散する。また QR コードにすると、冊子化するまでもなく大容量の情報を拡散できるので、チラシに載せ、市内外に広く周知する。</p> <p>(2) 入間川御所の講談創作と動画作成</p> <p>入間川御所の話は歴史的に重要であり、また入間川のまち（現狭山市）のまちおこしにおいて重要な要素である。講談の手法によってそうした意義を伝える試みを行い、動画の作成も行う。また 1 月に講談ライブを行うとともに、併せて、地域の昔話など「語り」ができる方にも登場してもらおう。</p> <p>(3) カヌー体験</p> <p>入間川においてカヌー体験を行い、子どもたちに川の魅力を広く伝える。</p>

●動画制作の内容

		項目	入間川、赤間川	不老川	久保川
術師)が尋ねる形式) 知ること(地域のそれぞれの達人に、市内在住のインタビュアー(腹話	川を知る 動画制作	川の成り立ちや源流を知る	名栗村の大持山	古多摩川	狭山市内
		カヌー	カヌー体験(赤間川を除く)		
		川の歴史をたどると人の営みが分かる	太古アボノ象等 縄文文化 広瀬神社周辺 清水冠者 入間川御所 狂言入間川 松平信綱の開削 清水宗徳	伊勢、紀貫之、西行など平安歌人 枕草子に出てくる堀兼之井。七曲井、松平信綱の開削	せんちゃん地蔵の民話の意味
	自然を知る 動画制作	魚類	魚類等水生生物、特定外来種を知る	魚類等水生生物、特定外来種を知る	魚類等水生生物、特定外来種を知る
		野鳥・小動物	野鳥、小動物	野鳥、小動物	
		昆虫、クモなど	昆虫、クモ	昆虫、クモ	
		河原の岩石	チャート、砂岩、花こう岩		
		河原の草木	在来種、特定外来種	在来種、特定外来種	
	恐さを知る 動画制作	地球温暖化に伴う局地豪雨災害・水難事故対策	笹井地区など沿川危険地域マップ 川遊びの注意点	沿川危険地域マップ 川遊びの注意点	沿川危険地域マップ

4. 具体的な事業の実施計画

○事業のスケジュール

時期	
7月	企画及び関係各所との調整 4河川の源流調査と動画撮影
8月	7月活動のフィードバック
9月	入間川の自然、水質について動画撮影
10月	入間川の筏を想像してカヌー体験
11月	4河川の歴史について動画撮影
12月	入間川や不老川について野鳥観察の動画撮影
1月	入間川御所の講談をライブで且つ動画撮影
2月	QRコードを集めてSNS拡散、チラシ作成及び配布

○ 広報計画について

講談ライブはチラシを作成し配布する。
 動画は、YouTube で以下の広報拠点や教育拠点に配信を行い、PR活動をする。チラシにQRコードを載せて配布する。

- * 狭山市及び近隣市
- * 狭山市内の全小中学校などすべての教育機関
- * 狭山市内全公民館など公益施設
- * 狭山ケーブルテレビ
- * 近隣市の関係各所

<p>5. 個々の事業の実施により達成したい成果の具体的な内容</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・川の学習事業は当 NPO が入間川小学校と何年もの間に実施してきた野外授業ですが、コロナ禍によって実施計画すら進まなかった。 ・そんな折に地元で活躍する腹話術師からインタビュー形式で川の専門家から本来の魅力や課題を分かりやすく引き出せるかもしれないと提案があり、15 分の試作版を作り YouTube にアップ、また QR コードで内々に配信したところ大変好評だった。 ・従来 2 時間の野外授業と教室で行う出前授業は通算 10 時間で入間川魅力を伝えていたが、当該 QR コードでは 15 分でこの魅力を伝えるのは全く足りない。 ・また市から他の学校にも同様の教育支援をしよう求められているが予算的にもスタッフの労力からも無理だが、QR コードでコンテンツを配信すれば市内全域の教育機関や公益的施設に配信できる。 ・また入間川、不老川など広域河川は近隣市にもその魅力や怖さを伝えることができる。 ・入間川は古くから政治経済の戦略拠点で、足利尊氏は鎌倉の守りを強固にするため次男の基氏に入間川を守らせ入間川御所を設け 3 万 5 千の兵馬を配し 9 年間にわたり国の中心だったが一部の歴史好きしかこの史実を知らない。 ・今回の川の再生の大きな目玉としてこの史実を真打講談師宝井琴鶴にお願いし、入間川魅力を QR コード一つで首都圏に伝えることができる。
<p>6. 事業の実施体制</p>	<ul style="list-style-type: none"> ①総括責任者 吉岡勇三 (NPO 法人さやま環境市民ネットワーク理事) ②連絡責任者 吉岡勇三 (NPO 法人さやま環境市民ネットワーク理事) ③現場責任者 皆川健治 (NPO 法人さやま環境市民ネットワーク理事) ④経理担当者 矢野公正 (狭山市民大学同窓会会計担当理事) ⑤広報担当者 安藤倫子 (日本腹話術協会理事)
<p>7. 来年度以降どのように事業を継続し発展させていくか</p>	<ul style="list-style-type: none"> ①QR コード、カヌー、ライフジャケットなど必要な資源が揃うので教育・普及・啓発活動に集中できる ②評判の良かったコンテンツは更に集中的に市内外に発信する ③活用率を調べ出前授業として積極的に魅力を伝えることができる ④カヌーなどともと人気の高いイベントは受け入れ態勢を再構築して市民に広く活用してもらう
<p>8. 今回の事業が他の団体、行政等が実施する同種の事業と比べて優れていること</p>	<ul style="list-style-type: none"> ①当該事業は NPO 法人さやま環境市民ネットワーク内の大変ユニークな特技を持った人材の提案を即刻採用して試作したためオリジナル性が高く、内部の評判が大変良かった。 ②狭山市はもともと協働体制があるうえ、市民大学同窓生のネットワークが充実しており、何かを起こそうと思ったときに人材が集まりやすい。 ③ NPO に限らず優秀な任意団体にも人材が多く狭山まちづくりリストの会主宰の義高ウォークなど市町を またぐイベントも狭山歴史クラブと協働で首都圏からも参加者を集めている。



QR コードは好評だった YouTube

